

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
矢掛	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
商大附属	0	0	0	0	0	0	2	0	1×	3×

矢 花岡、森上 — 小池

文責：国定 和佳（普通科総合コース）

勝てば中国大会への進出が決まる一戦。矢掛高校の先発は、2年生右腕の花岡（木ノ子中）

- 1 回表、矢掛高校の攻撃。一死から大山（小北中）が内野安打で出塁する。二死から盗塁も決める。さらに悪送球の間に三塁まで進む。真砂（木ノ子中）が四球により出塁し初回で先制点のチャンスを迎えるも次打者を三振で抑えられ、先制ならず。
- 1 回裏、岡山商大附属高校の攻撃。立ち上がり心配された花岡は制球良く三者凡退に抑える。
- 3 回表、矢掛高校の攻撃。この日も二つの三振を奪われ、ここまで七つの三振を喫する。
- 4 回表、矢掛高校の攻撃。二死から代打に三澤（真備東中）を送るがチャンスを作ることができない。
- 4 回裏、岡山商大附属高校の攻撃。先頭打者に四球を与え、この試合初めての走者を背負う。犠打で二塁まで走者を進められるが、落ち着いて後続を抑え、無失点。
- 5 回表、矢掛高校の攻撃。先頭の花岡が左前打を放ち出塁。ここで代走の木尾（美星中）が送られる。続く佐藤武蔵（木ノ子中）がきっちり犠打を決め、チャンスを作る。続く中村（矢掛中）が四球を選び、一・二塁とし、次打者の小池（総社西中）が絶妙のバントヒットで満塁とする。ここで打席に入った赤木（小北中）がしぶとく内野ゴロを放つが、本塁封殺で二死。続いて打席には大山が入る。大山は追い込まれながらファールで粘り、10球目に放った打球が野手のグラブを弾き、2点を先制する。矢掛高校は好投手から2点を奪い、主導権を握る。
- 5 回裏、岡山商大附属高校の攻撃。矢掛高校は森上（総社西中）をマウンドへ送る。森上は三者連続三振を奪う圧巻のピッチングを見せる。
- 6 回表、矢掛高校の攻撃。二死から、森上が左前打を放つが、無得点。
- 7 回裏、岡山商大附属高校の攻撃。先頭打者に死球を与え出塁される。ボークで二塁まで進まれ、次打者の左前打で二・三塁とされる。ここで、相手四番打者に中前に運ばれ2点を奪われる。続くピンチは内野ゴロで抑えるが、試合は振り出しへ。
- 8 回表、矢掛高校の攻撃。二死から、真砂が左中間に二塁打を放つが、あと一本が出ず、勝ち越しならず。
- 8 回裏、岡山商大附属高校の攻撃。森上はこの日も三者連続三振を奪う。
- 9 回表、矢掛高校の攻撃。一死から、佐藤武蔵が四球で出塁し、続く中村の犠打で二塁まで進むが、三塁を欲張りタッチアウトとなる。矢掛高校は焦りが見え、ちぐはぐな攻撃が続く。
- 9 回裏、岡山商大附属高校の攻撃。先頭打者から三振を奪い一死。次打者に四球を与え、走者を背負う。ここで打席に入った相手四番打者に左中間に運ばれ、一塁走者が生還し、サヨナラとなる。

矢掛高校は昨年に続き岡山商大附属高校に敗れ、県大会敗退となった。この敗戦により中国大会への進出は幻となった。相手を無安打に抑えた花岡のピッチングと、リリーフながら8つの三振を奪った森上の力投は収穫となったが、11三振を喫した打線のふがいなさや守備面での脆さが露呈した一戦となった。次回の公式戦は岡山県高校総体備中支部大会となる。実力のあるチームが揃う地区で激戦が予想されるが、今回の敗戦を糧にチームとしてやるべきことを見つめ直してほしい。

今シーズンの勝敗

1 5 勝 5 敗 3 分